

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2005-169089(P2005-169089A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2004-323279(P2004-323279)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月17日(2008.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技機の所定位置に設けられたボックス装着部には、回路基板が収納された基板ボックスが前後に重ね合わされた状態で配置され、

前記前後の基板ボックスの一側部にはヒンジ機構が配設され、

前記ヒンジ機構によって奥の基板ボックスに対し手前の基板ボックスが水平方向に回動可能に装着されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技機の所定位置に設けられたボックス装着部には、回路基板が収納された基板ボックスが前後に重ね合わされた状態で配置され、

前記ボックス装着部には、前記前後の基板ボックスが別個のヒンジ機構によってそれぞれ独立して回動可能に装着されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技機であって、

ボックス装着部に対し前後の基板ボックスが共通の係止体によって装着状態にロックされる構成にしてあることを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の遊技機であって、

係止体は、ボックス装着部に弾性的に係止されて奥の基板ボックスを装着状態にロックする第 1 ロック部と、

前記奥の基板ボックスに対し手前の基板ボックスを装着状態にロックする第 2 ロック部と、

ロック解除用操作部と、をそれぞれ一体に備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の遊技機であって、

係止体は、第 1 ロック部が形成される第 1 弾性変形部と、第 2 ロック部が形成される第 2 弾性変形部を一体に有し、

ロック解除用操作部によって前記第 2 弾性変形部を前記第 2 ロック部のロック解除方向に弾性変形したときには、前記第 1 ロック部がロック状態に保たれた状態で前記第 2 ロック部のみがロック解除され、

前記第２ロック部がロック解除された状態で、前記ロック解除用操作部によって前記第１弾性変形部を第１ロック部のロック解除方向に弾性変形することで第１ロック部がロック解除される構成にしてあることを特徴とする遊技機。